

1 単元名 「〇〇〇〇」 (教科書名)

2 単元の目標 ※中学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説数学編の目標を参照すること

- (1) 各学年の目標より、単元に関する目標を取り出し、(1)知識及び技能、(2)思考力、判断力、表現力等、(3)学びに向かう力、人間性等の順で明記する。

3 単元で働かせたい見方・考え方

〈記入例〉〇〇〇に着目して捉え、△△△を用いたり、□□□を関連付けたりしながら、論理的、統合的・発展的に考える。

4 単元について

(1) 教材観 ※中学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説数学編の内容を参照すること

- ①本単元の学習を関連する指導内容(既習・未習)や単元の系統性を明記する。
 ②本時の教材で身に付けたい資質・能力や働かせたい数学的な見方・考え方を明記する。

(2) 生徒観

- ①各種調査結果等の客観的なデータをもとに、本生徒のよさと課題を明記する。
 ②日常の授業や学習状況から、本単元の学習に関連する目指す生徒の姿を明記する。

(3) 指導観

- (2)の生徒観から、実態を踏まえた指導の工夫や改善、手立てを明記する。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①～について <u>理解</u> している。	①～ <u>することができる</u> 。	①〇〇〇〇〇〇〇〇を <u>考えよう</u> としている。
②～を <u>知っている</u> 。	②～ <u>することができる</u> 。	②〇〇〇〇〇〇〇〇について学んだことを生活や学習に <u>生かそう</u> としている。
③～ <u>することができる</u> 。(技能)		③〇〇〇〇〇〇〇〇を活用した問題解決の過程を振り返って <u>評価・改善しよう</u> としている。

6 単元の指導と評価の計画 (●時間)

※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料の内容も参照すること

場面	時	ねらい(●)・学習活動(◆)	重点	記録	備考
習得	1	●ねらい ◆学習活動	知		知①：行動観察
	2	●ねらい ◆学習活動			
	3	●ねらい ◆学習活動	態	○	知②：小テスト
	4	●ねらい ◆学習活動			
	5	●ねらい ◆学習活動			思①：ノート
	6	●ねらい ◆学習活動			
活用	7	●ねらい ◆学習活動			
	8	●ねらい ◆学習活動			
	9	●ねらい ◆学習活動			
探究	10	●ねらい ◆学習活動			

「5 単元の評価規準」の内容をもとに、重点や記録、備考欄を記載する。

7 本時の学習

(1) 本時のねらい(育成を目指す資質・能力や目指す生徒の姿等)

(2) 本時の評価規準

本時のねらいや評価規準については、「6 単元の指導と評価の計画」の内容を踏まえて記載する。

(3) 本時で働かせたい見方・考え方

(4) 第●時の展開 ※数学的活動(問題発見・解決の過程)を意識した授業を展開する。

【数学的活動】	指導と学習活動 【予想させる生徒のつまずきや反応】	評価と配慮事項 【教師の見取りと手立て】
【A1】 【A2】 数学化	1 問題を把握する。 〈予想される生徒の反応〉	★ICTの活用 問題を視覚的に捉えさせ、課題を見いだすために活用する。
【B】 焦点化	2 見通しを立てる。	ICT(1人1台端末)を活用する際は、ねらいや目的「何のために」を明記する。
【C】 問題解決	3 問題を解決する。 (1) 自力解決 〈予想される生徒のつまずき〉 (2) 集団解決 4 まとめ(本時のポイント)	
【D1】 活用・意味付け 【D2】 統合・発展	5 解を解釈する(統合的・発展的に考える)。	【評価場面】 態①：シート

8 板書計画(イメージ例)

- ①問題提示(場面把握、図や吹き出し等)
※電子黒板で提示してもよいが、板書にも残すこと
- ②めあて、又は、学習課題
- ③見通し
- ④生徒の考えや解決方法(図、表、式やグラフ等の数学的な表現)
- ⑤まとめやポイント等
- ⑥適用問題
- ⑦振り返りの視点(必要に応じて)